

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 7 月 6 日 (2006.7.6)

【公開番号】特開 2005-227717 (P2005-227717A)
 【公開日】平成 17 年 8 月 25 日 (2005.8.25)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-033
 【出願番号】特願 2004-38832 (P2004-38832)
 【国際特許分類】

G 0 3 B 42/02 (2006.01)

G 0 1 T 1/00 (2006.01)

G 2 1 K 4/00 (2006.01)

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 42/02 Z

G 0 1 T 1/00 B

G 2 1 K 4/00 L

A 6 1 B 6/00 3 0 3 K

A 6 1 B 6/00 3 5 0 M

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 5 月 19 日 (2006.5.19)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 6 5
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 6 5】

さらに、収納部 3 4 の両側壁には、第 2 孔部 1 5 6 a ~ 1 5 6 c が形成される位置にそれぞれガイド孔 1 5 8 a ~ 1 5 8 c を有するガイドプレート 1 6 0 a ~ 1 6 0 c がボルト 1 6 2 を介して装着されている。このガイドプレート 1 6 0 a ~ 1 6 0 c のガイド孔 1 5 8 a ~ 1 5 8 c の直径は、第 1 ~ 第 3 ロックピン 1 3 4、1 3 6、1 5 0 の外周径と略同等に形成されているため、前記ガイド孔 1 5 8 a ~ 1 5 8 c の内部を第 1 ~ 第 3 ロックピン 1 3 4、1 3 6、1 5 0 が挿通することによって軸線方向に沿ってガイドされる。なお、前記ガイド孔 1 5 8 a ~ 1 5 8 c に挿通される第 1 ~ 第 3 ロックピン 1 3 4、1 3 6、1 5 0 の先端部は、徐々に縮径するテーパ状に形成されている。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】図面
 【補正対象項目名】図 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【図 7】

FIG. 7

